

当面の任務は何か

全ての学友諸君、我々は今、「工学部試験13日以降無期延期」から何を学び、そして本日から始まうこととしている農芸部の試験に如何に対応してゆかなければならぬのか。

学校当局は、権力機構の維持、再生産・学内改革に関してまったく無方針であるが故に、何の理由も明示することなく、常體使用禁止・非合法化せらるといつ禪闇で学生の口を封じかつては好んで使った詰合いさえも極力避けている。また詰合いにしても、組織の責任は参加した個人にはないのだといふ形で結局当局の組織方針・弾圧方針の下に包括しているのである。権威者として、権力の主導として登場してくれる教授であろうとも個人的にはそれぞれイイセンセイであろう。然しだからといって全てを人の情に解消することはできない!

今や学校当局は膨大にして強大な権力を背景として、試験という最高の日常性を回帰させることにより、あらゆる矛盾を忘却させ、そのことにより、我々の意識、思考を僵化させ、自らの意志支配を貫徹しようとしている。我々はこれを強压と呼ばばして何と呼ぶことができるのだろうか!

我々にとって最も重要な問題はこうした状況を確実に把握ながら、如何に関わってゆくのか――のことだ。

可むかっていふんだができないんだ所 ど此程多くの人達が呴いたことが 我々は確認しなければならぬんだろう、その呴きの姿勢が果たす役割りそのものが矛盾解決・闘争の放棄の姿ならず弾圧であるんだと、うことを その呴きの姿勢が矛盾といふに拡大し再生産してきたことか

学友諸君、そして大学院生、助手、教授先生方、当面する状況を踏まえれば、我々の任務は、試験粉碎にある。

我々は単に試験を粉碎すればいいといつてではない、試験粉碎そのものは問題の解決に向けた媒介的・過渡として展開される闘いなのである。
指道 還れ、此の問題点に関し、何を語ることもなく、何を為すこともなく、ただ「日帝」を復活させるだけ――という無方針にして、最も巧妙な方針を進める学校当局!! 教授会のこの壓殺行為!! 犯罪を告発しつつ 全ての大学人は農芸部における試験粉碎行動に決起せよ!

15日12時30分 学館第3会議室にて

生田地区共同會議 農芸部、試験粉碎斗争に關して

15日2時 農120番教室にて